

学校紹介
新聞

八千代町立 中結城小学校



- ◆校長 國府田睦
- ◆児童数 310人
- ◆創立 1894年
- ◆住所 八千代町菅谷351

タブレット端末を活用した授業



楽しい授業

タブレット活用し学び



中結城小では、タブレット端末を活用して自分の学びを蓄積していく「スタディ・ログ」スタイルを取り入れています。

外国語の授業で使っているリフレクションシートは、単元のゴールに向かって進化する自分の学びが一目で分かるものです。先生や友達のグッドモデルを貼り付け、自宅でも何度も練習します。自分の書いたノートやスピーチ動画、シンキングツールなども貼り付けています。単元のはじめと比べると、できることが増えていることが実感できます。タブレット端末を使うことで自分だけでなく、友達と共有することも簡単にできます。気付きや疑問をみんなで活用したり、比べ合ったりできます。

分からないことをそのままにせず、みんなで考え、学びが日々進化していく「中小学習」スタイルを続けたいです。(6年 小森陽葵)

こんな学校です!



運動会のスローガンを出入り児童たち

自分たちで文化を創る



中結城小学校は、私たち自身で学校の文化を創っている学校です。実行委員会活動が盛んなこともそうですが、クラスでの話し合いを児童集会につなげ、よりよい学校づくりに努めています。

例えば、あいさつリーダーを中心にあいさつ自慢大会をしたり、おそうじマイスターを目指す活動を展開したりしています。「よいあいさつとは?」「きれいに清掃するために必要なことは?」など疑問に

思ったことをとことん話し合い、全校で実行しています。昨年度は、室内の歩行の仕方について取り組みました。今後は、なりたい職業や、なりたい自分を描く「夢を語ろう」集会を企画しています。

このように、自分たちに必要なことを、自分たち自身で考え話し合い実行していく活動を通して、全校で守っていこうとする意識が高まっています。今後も「中小文化」を私たちの手で創っていきたいです。

(6年 倉持優菜)

笑顔があふれた福刈り体験



地域との交流

水田で充実の農業体験



中結城小では、地域の方々にお世話になり、農業体験を行っています。5年生の米作りでは、代かきや田植え、稲刈りなどで昔と現代の両方のやり方を体験します。手作業体験では、土の温かさや苗の根の深さなど、多くの発見がありました。1畝進むのに30分かかった田植えの大変さに驚きました。貴重な体験でした。

機械を活用した農業体験では、田植え機やコンバインに乗りました。土地のこう配や水田の形に合わせて作業をするための仕組みにびっくりしました。ドローンやデジタル機器を活用した水田管理を見ることができ、充実した学習をすることができました。収穫したお米の輝きと、おいしさ、そして何より農家の方の笑顔が忘れられません。(6年 大久保龍、幸田滯奈)



わくわく 学校行事



地産地消フェスタで行われたおにぎり作り体験

特産物知ったフェスタ



私たちは、お米の収穫祭と外国語の学習を関連させて、「地産地消フェスタ」を開きました。農業体験で収穫したお米をおにぎりにして、招待した地域の方々や保護者の皆さんと一緒に楽しみました。それに加え、外国語の学習で学んだ、お店でのやりとりを実践しました。やりとりでは、町の特産物を使って、お米に合うおかずや町の皆さんに広めたいデザートを一人一人が考えました。材料や味、食感、値段などを英語でアピールし、自分が考案したメニューを紹介し合いました。

この「地産地消フェスタ」は、今まで自分が知らなかった町の特産物やそのよさを知る絶好の機会となりました。自分たちが考えたメニューが「我が家の定番メニュー」になったり、英語を使って通じ合える喜びを感じたりでき、とても心に残る体験ができました。(6年 川田菜々美)

次回は7月3日 土浦市立土浦第一中学校です

教育資金応援キャンペーン

特別金利で取扱中 期間 令和6年7月31日[水]まで スマホでらくらくお申込みはWebで

選べる2つのタイプ

- 奨学ローン** 10万円以上 1,000万円以下
- 教育カードローン** 100万円~ 500万円

0120-708-250

LINE公式アカウント 紹介 Vol.1

友だち登録のしかた

社名or店名を入力 QRコードを読み取る

印刷 インサツと暮らし。LINEで お友だち 募集中!

新開 茨城新聞社 ニュースをお届け!

LINE NEWS AWARDS 地方メディア1部門 5年連続大賞受賞!